

## ■ デザイン性・創造性

1. 風紋広場のイメージを継承し、鳥取砂丘の風紋のウェイブを感じさせるデザインとした。
2. 「おしどりアーチ」や「風紋広場の床模様」、「隣接する交番の壁面形状」の曲線に調和する形状。
3. 従来の公共トイレのイメージを払拭した、オブジェ的デザイン。
4. 曲線を描くカーテンウォールの型板ガラス面に、観光案内等を掲示し、見せる（魅せる）公共トイレ。



参考：植村直己冒険館

(壁面の型板ガラスに、冒険の記録を掲示)

## ■ バリアフリーの視点

1. 大便器、小便器の1台に、手摺を設置。
2. 点字ブロックや点字掲示の配慮、聴覚障害者に配慮し内部に、非常警報灯を設置。
3. 小さい子どもでも使いやすいように、洗面台の1台は低くし、幼児用洋便座（脱着式）を設置。

## ■ 安全・安心

1. 広場側からも歩道側からも入れ、防犯上、行き止まりを作らず、通り抜けられる。
2. 外壁が型板ガラスのため中は見えないが、何となく中の人の気配はわかり安心感がある。
3. 夜間は、建物全体が「あんどん」のように光ることで、使用の有無が外部からもわかる。
4. 水濡れしても滑りにくい、グリップタイプのタイルを使用。



## ■ エコロジー・省エネ

1. 昼間は、外壁が型板ガラスのため、内部は照明をつけなくても自然光により明るい。
2. 通り抜けられる構造により風通しもよく、匂い等もこもらない。
3. 夜間は、センサーライト（LED照明）による、利用時の点灯とする。
4. 自動水栓（洗面）や流水音（大便器）で節水を配慮。
5. 大小切り替え洗浄による、大便器自動洗浄システムによる節水。



## ■ 使いやすさ

1. 女性用洗面の混雑緩和に、化粧カウンターを設置。
2. 小便器は背の低い子どもでも確実に感知、センサーへのいたずらを防ぐ。
3. 子どもや家族連れに配慮し、出入り口付近で、待ち合わせが可能な緑陰休憩所（スツール）を設置。



## ■ 維持管理のしやすさ

1. カーテンウォール壁面の観光案内等の掲示は、フィルムによるため、張替えにより更新が可能。
2. 自動洗浄は水の流れを利用して発電した電力を蓄積するので、電源確保が不要。
3. 自動洗浄の電源（発電機＋バッカアップ電池）は約10年間電池交換が不要。
4. 「光触媒おだれタイル」の採用で、尿の飛散によるベタベタ汚れやにおいを解決し、清掃性も向上。
5. 自動洗浄小便器のセンサーにより、温度低下を感知し、凍結予防。



